

路地百選推薦書

推薦者氏名：別府オダサク倶楽部・中野護

推薦する路地（のまち）の名称	別府温泉竹瓦小路
所在地	大分県別府市元町15（市営竹瓦温泉前）

【推薦する理由（路地のよいところ）】

竹瓦小路（たけがわら・こうじ）は、市営竹瓦温泉（国の登録文化財）の前から流川通りに抜ける木造アーケード付きの路地。大正時代に造られた長さ約70㍎、幅約3㍎の路地で、両側には2階建て棟割り長屋が並び、竹瓦温泉の入湯客相手の土産品店や飲食店、地元住民向けの鮮魚店や総菜店などが連なり、賑わったという。当時は「竹瓦市場」「竹瓦マーケット」と呼ばれ、路地を覆うガラス張りの木造アーケードが「ガラス天井の市場」として珍しがられ、県内外から数多くの視察団が訪れたという。

19世紀パリで流行し、百貨店の前身となった鉄骨造り総ガラス天井が特長の「パッサージュ」手法を導入したものであることは明らかで、別府観光・商業の近代化遺産ともいえる存在。現在、登録文化財申請に向けた動きも出ている。

しかし、度々手直しされ、名物だった天井のガラスも今では、合成樹脂の波板になってしまっている。老朽化も激しく危険な状態で、2004年には有志が「竹瓦小路アーケード修復・保存の会」（辻隆司代表＝写真）を結成、既に現況調査を実施し、修復に向けて活動している。



【写真添付】



昼の竹瓦小路



夜には流しも登場

路地のまちの概要	面積	約	h a	路地の延長	長さ約70㍎、幅約3㍎の路地。
	まちの成り立ち、特色等				

路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。